

非同盟プロジェクトの刷新を

プログレッシブ・インターナショナル主催

新国際経済秩序に関するハバナ会議の最終宣言

プログレッシブ・インターナショナルが主催した「新国際経済秩序に関するハバナ会議」が、キューバが今年後半にこの問題に関する G77 会議を開催すると発表した機会に、1月26日～27日の2日間にわたり、開催されました。会議では、ハバナ宣言と「グローバル・サウスの科学技術主権を保障する」新国際経済秩序を推進することが承認されました。

この会議には、キューバのミゲル・ディアス＝カネル大統領やブルーノ・ロドリゲス・パリージャ外相をはじめ、6大陸26カ国から学者、外交官、代議士、議員など50人以上が参加しました。

2日間にわたり、アンドレス・アラウス、クララ・ロペス、ヤニス・バルーフアキスなどが、パネルや基調講演を通じて地政学、気候、金融、技術、貿易について討議しました。



ブルーノ・ロドリゲス・パリージャ外相は、キューバの G77 議長国就任を祝う式典で、「科学技術の発展は、今日、特許、技術、研究センターの大部分を独

占し、わが国からの人材流出を促す一部の国によって独占されている」と主張し、科学技術に関する「グローバル・サウス」の協調した行動の必要性を強調しました。キューバで開催される G77 サミットは、ロドリゲス外相が述べたように、「将来のパンデミックに直面しても取り残されることがないように、我々を団結させ、相互に補完し、われわれの国家の能力を統合する」ことを目的としています。

ハバナ大会の閉会式で、プログレッシブ・インターナショナルの統括コーディネーター、デビッド・アドラーは、「私たちが共有する世界をいかに変革していくかについて 2 日間にわたって詳細に議論した結果、参加者は科学技術の主権を確保することが重要であることに同意した。医薬品からグリーンテクノロジーまで、デジタル通貨からマイクロチップまで、あまりにも多くの人類が、科学の飛躍的進歩の恩恵を受けることも、新たな進歩に貢献することもできない。今日の宣言が求めているように、私たちは知識と民族を解放するために、『「南」が主導し、「北」の連帯によって強化された地球ブロック』を構築するために努力する」とあいさつしました。

チリ下院議員のカロル・カリオラは、「世界の経済秩序は、それを支える女性の知られざる労働を抜きにしては語れない。もし、世界中の女性が、家の中で一瞬でも働くのをやめようと思ったら、世界は止まってしまおうだろう。NOEI を 21 世紀に向けてアップデートするということは、フェミニストなものにするということである」と述べました。

エクアドル中央銀行前総裁でプログレッシブ・インターナショナルのメンバーであるアンドレス・アラウス氏は、「真の脱植民地化とは、バンドンの精神に基づき、グローバル・サウスの人々の間に持続的な地域の結束と主権的統合を築くために地域内紛争を克服することである。つまり、「南」の一枚岩的な行動と協調的な行動を拡大しなければならない」と述べました。

以下、会議の最終宣言を紹介します。

ハバナ会議最終宣言

「南」半球の国々を統合する闘いにおけるキューバ革命の役割と、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの人民を集め、深刻な世界危機と持続的な帝国の従属に直面しながら集団解放の道を描いた 1966 年のハバナ三大陸会議の精神を想起し、

飢餓、疾病、戦争の危機が再び世界を覆い、急速に変化する気候や干ばつ、洪水、ハリケーンによって悪化し、民族間の対立を悪化させるだけでなく、人類全体の絶滅の危機にも直面しているという今日の歴史の反響に耳を傾けて、

反植民地闘争の成果を認識し、国内では主権開発プログラム、国外では民族解放のための連帯、強力な「南」ブロックの利益を獲得するための譲歩を組み合わせ、新しい国際経済秩序（NIEO）の確立に関する国連宣言の採択で、成果が最高潮に達したことを認識して、

脱植民地化プロジェクトは、戦争、クーデター、制裁、構造調整、階層的世界システムへの統合を通じて主権的發展を勝ち取ることができるという誤った約束といった形で、「南」の統一に対する協調的攻撃によって中断された不完全なままであることを受け止めて、

その結果、「南」「北」間に持続的な乖離が生じ、50 年前の国際経済秩序を規定したのと同じ力学、すなわち天然資源の採取、「知的財産」の囲い込み、構造調整による収奪、多国間システムからの排除によって特徴づけられていることを強調して、

このような挫折にもかかわらず、「南」の抵抗の炎は消えておらず、主権的發展の探求は、大衆識字、国民皆保険、貧困緩和、医療革新など、前例のない成果を生み出し、今日、「南」の協力の新たなキャンペーンを可能にしていることを認識して、

このような「南」の団結の可能性は、経済的排除、政治的強制、軍事的侵略の仕組みを通じてグローバルシステムの階層における自らの地位を、再び維持しようとする「北」の勢力にとって脅威であると認識されていることを強調し、

既存の世界システムの危機が不平等を固定化するか、あるいは正義、公平、平和に基づく新しい世界秩序の構築において、「南」の主役を取り戻す呼びかけ

を後押しするという、「南」の団結の可能性は、経済排除、政治強制、軍事侵略のメカニズムを通じて世界システムの階層における自らの地位を再び維持しようとする「北」の権力に対する脅威として認識されており、したがって、現在の歴史は、岐路に立っているととらえて、

ハバナ会議は、次のように呼びかける。

非同盟運動の刷新：世界のパワーバランスの決定的な変化から生まれる地政学的緊張の高まりに直面し、会議は、新たな冷戦の誘惑に抵抗し、1955年のバンドン会議、1961年の非同盟会議、1966年の三大陸会議などで明示された主権、平和、協力の原則に基づいて、非同盟プロジェクトを刷新するよう呼びかける。

NIEO の刷新：非同盟運動の刷新に伴い、会議は、21世紀に適合した新国際経済秩序の新たなビジョンを求める。このビジョンは、当初の宣言を基にする必要があるが、デジタル技術から環境崩壊まで、今日の主権の発展の条件を定める重要問題を考慮に入れ、その50周年を機に新しい国連宣言の中にこのビジョンを明記することである。

「南」の力を主張する：会議は、経済的解放は与えられるものではなく、勝ち取らなければならないものであることを認識する。新しい国際経済秩序を求める当初の要請が、石油生産の調整における集団的な力の行使を通じて達成されたように、現在のビジョンは、「南」の集団的行動と、必須技術の共有、政府債務の対処、開発資金の活用、将来のパンデミックに共に立ち向かうための新しい代替機関の形成、さらには、国際気候行動と天然資源採取に関する国家主権の保護に関する立場の調整を通じてのみ実現できるのである。

G77 にキューバを参加させる：会議は、キューバが77カ国+中国の議長国を務めることで、現在の危機から「南」を導き出し、その革命の教訓をより広い国際システムを変革するための具体的提案と野心的イニシアティブに注ぎ込む貴重な機会が与えられるものと認識する。

地球的ブロックを構築する：会議は、世界のすべての人民と国家に対し、新国際経済秩序を決定的に達成するための闘いに参加し、「南」が主導し、「北」の連帯によって強化された地球的ブロックを構築し、その諸国人民が自分たち

の名において行われた犯罪に抵抗する義務を認識し、このハバナ会議の精神を私たちが故郷と呼ぶ共同体にもたらすよう呼びかける。

(23.02.08 新藤通弘)